

心豊かに
生涯学習

中之町コミセンだより

第179号

猛暑を跳ね返して！中之町、深町地域の夏祭り
地域の伝統を受け継ぎながら、今年も楽しく開催されました

茹だる様な暑さが続く中、8月13日（火）に中之町連合自治会、8月15日（木）には深町連合町内会が、それぞれの盆行事を兼ねた夏祭りを開催しました。

中之町では400人、深町では300人が、昨年のお盆以降の新仏様に思いを馳せながら、一生懸命練習した「地踊り」やヤッサ踊りを楽しみました。時間が経つにしたがって老若の輪が自然に広がり、地域の繋がりの深さを垣間見る思いでした。

両地域とも、久しぶりに帰省された方々を交えて、深夜まで楽しい歓談が続いていました。



「受け継ぎますいのちを」のテーマで慰霊の夕べを行った後はグラウンド一杯を使った盆踊り。やぐらの上で口説いておられるのは盆踊り保存会の皆さん。さてさて「お楽しみ抽選会」の景品は何だったかな？（中之町）

流暢な「口説き」と太鼓パチさばきは「お見事」の一言です。壮青会の「太鼓踊り」も祭りを盛り上げます。この子もおじいちゃんと一緒に、鉦で踊りの「合いの手」を入れてくれました。（深町）



左の写真は7月20日（土）に開催された「やっさ工房夏祭り」スナップ。

民生委員や福祉ボランティアの皆さんの努力下、中之町の夏の行事としても定着して来ました。工房の方たちが準備してくれたボール釣り・折り紙・パッチワークなどに、大勢の子どもたちも楽しんでいました。お抹茶も美味しかったですよ。

夏休み子供講座を開催
“キッズチャレンジ教室” “おむすびを作ろう”

かわいい目を一杯に見開いて習っています。

7月20日（土）は保健福祉課主催で3歳～6歳児と保護者対象の食育教室が開催されました。お米の磨ぎ方や炊き方を習いながら、熱々のご飯を小さな手で握って大奮闘。

「味を感じよう」のコーナーでは、昆布や鰹節から取った出汁を淡水や塩水と比べながら「しょっぱい」「旨い？？」と大騒ぎ。出来立てのおにぎりとかき玉汁を試食して子どもたちはご満悦でした。

“君も一日で職人さん” “手打ちうどん体験”



みんなで一緒になんども踏み踏み。コシのある生地を作るのは大変です。



きれいにうどんを切りそろえることが出来ました。美味しそうです。

こちらは8月22日（木）福山食育会の麦田（むぎた）稔さん（のりさん）を講師にお迎えしての手打ちうどん体験。参加者は小学3年生～5年生に保護者を交えて17名。うどん粉を思いっきりコネコネして、足で踏み踏みして・・・と汗をかきながら作ったうどんを冷やしぶっかけで美味しくいただきました。『これなら家でも作れるね～』、『そうそう、今晚お父さんにも作ってあげてよ～』と、其処ここで会話の弾む体験講座でした。

コミセンの講座紹介 フラダンス

『ゆったりと、優雅に、全身を使って踊るのでシェイプアップに最適ですよ』と代表の小川敬子さん。ハワイでは神々への祈りの表現として古くから踊られてきたもの。幅広い年代が明るく元気に参加されています。毎月1・3土曜日の午前中に開催中。見学も大歓迎です。

9月のコミセン体験講座
お家で出来ちゃう簡単フレンチ

日時：9月26日（木）
10時～12時30分
場所：中之町コミセン
対象：大人（先着12名）
参加費：1,500円

受付は9月2日から中之町コミセン
Tel 0848-64-4099まで

